

# 上土田鶴免遺跡

場 所：岡山市北区上土田・下土田

調査期間：令和 7 年 11 月 14 日、12 月 9 日

## 上土田鶴免遺跡の概要

上土田鶴免遺跡は、北区上土田・下土田にまたがって存在する古墳時代の遺跡です。平成 4 (1992) 年に岡山市教育委員会により上水道揚水機（ポンプ）場建設に伴う発掘調査が行われており、古墳時代前期の土坑などが確認されています。

## 調査の概要

今回の調査は、過去に調査を行った揚水機場の南側から西にのびる市道上土田 20 号線の拡幅工事に伴うものです。道路拡幅工事によって路面が被さり、道路の下になる部分の調査を実施しました。

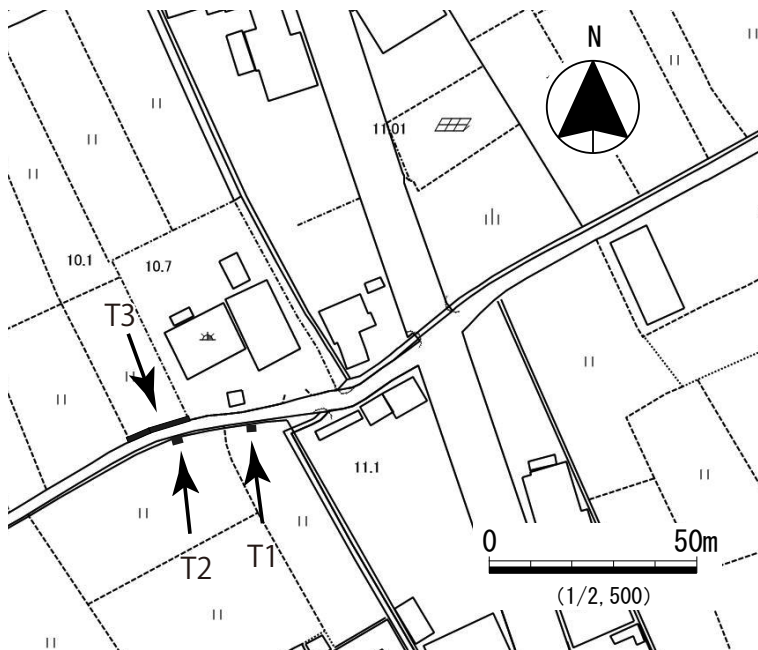
調査区は道路南側に 2 箇所（T 1、T2）、道路北側に 1 箇所（T3）の計 3 箇所を設け、いずれも重機で遺構面付近まで掘り下げ、トレンチの床面および壁面の観察・実測と写真撮影を行いました。



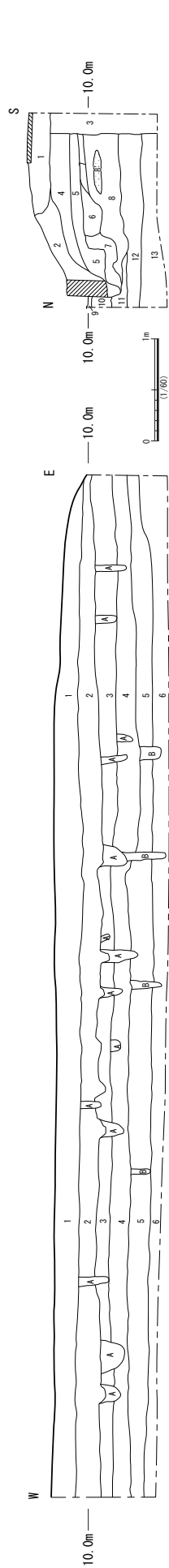
調査地点（1/50,000）

## 発掘調査の成果

今回の調査では、現在の水田層の下に幾層もの水田層を確認しましたが、過去の揚水機場の調査で確認したような古墳時代の遺構や遺物は全く確認できませんでした。そのため、下土田鶴免遺跡の性格や範囲については謎が残る結果となりました。



調査区位置図（1/2,500）



- 1 オリーブ黒色粘土 (5Y2/2)

2 オリーブ黒色粘土 (5Y3/1) 中〜粗粒砂を含む

3 にぶい黄色細粒砂 (2.5Y6/4) 中粒砂を含む

4 黄褐色極細粒〜シルト (2.5Y6/6) マンガン粒を多く含む

5 黄褐色シルト (2.5Y6/6) 粘性少しあり

6 黄褐色粘土 (2.5Y6/6) 粘性が非常に強い

A 暗灰黄色粘土 (2.5Y5/2) 杭痕

B 灰色粘土 (7.5Y4/1) 杭痕
- 1 砂利

2 暗オリーブ褐色細粒砂 (2.5Y3/3)

3 緑黒色粗粒砂 (10GY2/1)

4 黄褐色中粒砂 (2.5Y5/6) 礫含む

5 黄色中〜粗粒砂 (2.5Y7/8)

6 にぶい黄色中粒砂 (2.5Y6/3) マンガン粒を多く含む

7 5と8の新移層

8 暗緑灰色粘土 (10GY3/1) 中粒砂が混じる

8' 灰白色中〜細粒砂 (7.5Y8/2) 均質な砂のブロック

9 オリーブ黒色粘土 (5Y3/1) 中〜粗粒砂を含む

10 にぶい黄色細粒砂 (2.5Y6/4) 中粒砂を含む

11 明黄褐色極細粒〜シルト (2.5Y6/6) Mn粒を多く含む

12 明黄褐色シルト (2.5Y6/6) 粘性少しあり

13 明黄褐色粘土 (2.5Y6/6) 粘性が非常に強い

X=-143700

Y=-48822

Y=-48824

Y=-48826

Y=-48828

Y=-48830

X=-143702

X=-143704



1/60

トレンチ 3